

料金別納郵便



陶 アンドシュ・ブローデル & 絵 ティエリー・ルブルースト 二人展 —冬至の情景—

令和7年12月21日(日)~26日(金) 会期中無休
開廊時間：午前11時~午後7時 (最終日26日は午後5時まで)

アンドシュ・ブローデル [会期中、全日在廊予定]

昭和25年 フランス コレーズ県キュブラックに生まれる
昭和45年 パリ ナンテル大学で美学・哲学を専攻、博士号取得
画家として抽象画を発表するが、日本の茶の湯の精神に魅せられ、陶芸の道を志す
平成11年 京都に4ヶ月滞在し、「日本の陶芸／その起源から2000年」を執筆しパリで出版
平成18年 「Etes vous RAKU?」楽焼についての本をパリにて出版
平成22年 佐川美術館 楽吉左衛門館「吉左衛門 X Loubignac の空の下で」出展

ティエリー・ルブルースト [21日(日)~25日(木) 在廊予定]

昭和23年 フランス プレメリに生まれる
エコール・ポールでインテリア建築を学び、デザインで数々の賞を受賞
絵画(個展約40回)と舞台美術(演劇・舞踊・オペラ)で顕著な実績を持つ
長編映画17作品の美術監督を務め、延べ60以上のセットを手がけた
近年は、絵画だけでなく彫刻にも挑み、ユニークな家具作品も制作
平成15年 芸術文化勲章シュヴァリエ(騎士)を授与

寒さも増す冬至の候、フランス人の陶芸家とフランス人の抽象画家による二人展を開催致します。

陶芸家は、弊廊でも馴染みのあるアンドシュ・ブローデルさんで、パリから南南西に進み、赤ワインで有名なボルドーの手前にあるルビニャックという美しい村で懸命に作陶されています。その作品は球体の形を基本とした花入やオブジェ、そして茶の湯に魅せられたとおっしゃり、茶碗にも挑まれています。大胆な薬かけが彼の真骨頂であり、その佇まいに、私は共感を抱いております。

他方、抽象画家のティエリー・ルブルーストさんは、パリなどにアトリエを持ち製作されています。内装建築を学んだ後、画業の他にも、オペラや演劇で舞台美術を手がけるほか、映画の美術監督も務めて来られました。その作品は、そうしたご経歴からか、建築設計図の様な趣で、さまざまな線や図形が縦横無尽に交わる絵で欧州では人気を博しております。

本展はサブタイトルを「冬至の情景」と題し、冬至の候に仏蘭西から届く二人の最新作を発表致します。二人の作品がどの様に響き合うか、私も楽しみてなりません。年の瀬のお忙しい時期で恐縮ですが、弊廊の令和7年のトリを飾る企画、どうぞご清覧を頂ければ幸いです。

店主 安田尚史

移くギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com





Andoche Praudel & Thierry Leproust
Exposition en duo
—Solstice d'hiver—